

2024年度 第2四半期 決算

I. 2024年度 上期 決算概要

II. 2024年度 第2四半期 決算概要

III. 2024年度 通期 業績予想

IV. 補足資料

シャープ株式会社

2024年11月12日

- ・ 本日はご多忙な中、ご参加頂き ありがとうございます。
また、日頃は、当社の広報活動・IR活動にご協力頂き、
まことにありがとうございます。
- ・ それでは、パワーポイント資料に沿って、ご説明いたします。

連結業績概要

- ・ 上期のブランド事業の売上高は、スマートオフィスが大幅な増収となり、前年同期を上回る。
営業利益は、円安によるマイナス影響があるなか、増益を確保。

デバイス事業は、減収となった一方、構造改革の効果もあり、営業赤字が大幅に縮小。

全社トータルでは、売上高は減少したものの、営業利益は大きく改善し、2022年度上期以来の黒字となる。
- ・ 経常利益は、営業外の為替差損益の変動により、減益となるも、最終利益は、投資有価証券売却益などがあり、大幅な増益となる。
- ・ 通期の業績予想は、業績が想定通り進捗していることから、据え置く。

SHARP

1

- ・ 最初は、連結業績の概要になります。
- ・ 上期のブランド事業の売上高は、スマートオフィスが大幅な増収となったことから、前年同期を上回りました。
営業利益については、円安によるマイナス影響があるなかで、増益を確保しております。

デバイス事業では、売上が減少した一方、構造改革の効果もあり、営業赤字が大幅に縮小しました。

その結果、全社トータルでは、売上高が減少したものの、営業利益は大きく改善し、2022年度上期以来の黒字となりました。
- ・ 経常利益は、営業外の為替差損益の変動により、減益となりましたが、最終利益は、投資有価証券売却益などもあり、大幅な増益となりました。
- ・ 通期の業績予想については、
ここまで、業績が、ほぼ想定通り進捗していることから、据え置いております。

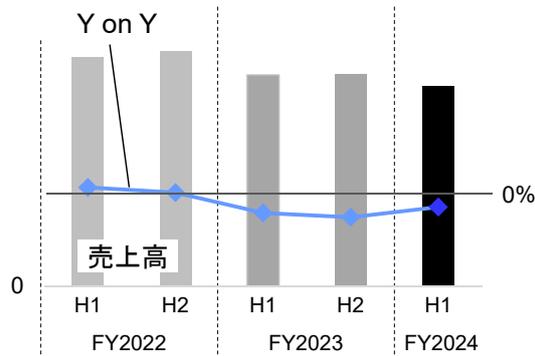
I . 2024年度 上期 決算概要

- ・ まず、2024年度 上期の実績について、ご説明させていただきます。

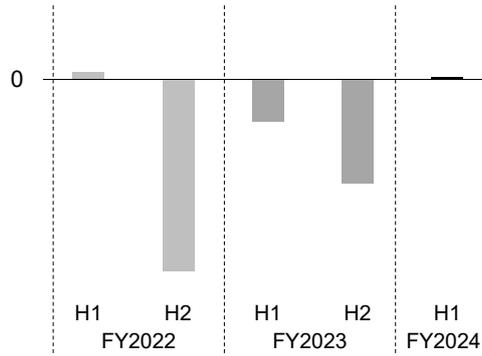
2024年度 上期 連結業績概要

(単位:十億円)	FY2023			FY2024	
	上期	下期	通期	上期	Y on Y
売上高	1,158.2	1,163.6	2,321.9	1,096.4	-5.3%
営業利益	-5.8 (-0.5%)	-14.4 (-1.2%)	-20.3 (-0.9%)	0.4 (0.0%)	-
経常利益	3.0 (0.3%)	-10.1 (-0.9%)	-7.0 (-0.3%)	1.4 (0.1%)	-51.6%
最終利益	4.9 (0.4%)	-154.9 (-13.3%)	-149.9 (-6.5%)	22.9 (2.1%)	+362.6%
平均為替レート					
ドル円	141.00	148.25	144.62	152.61	
ユーロ円	153.38	160.20	156.79	165.91	

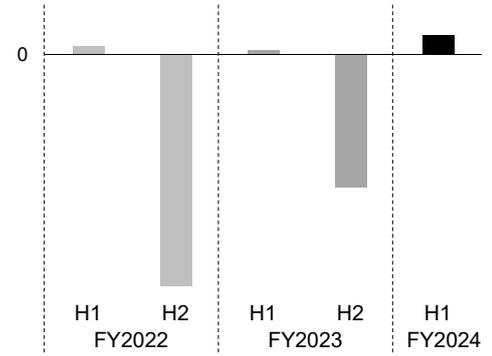
売上高



営業利益



最終利益

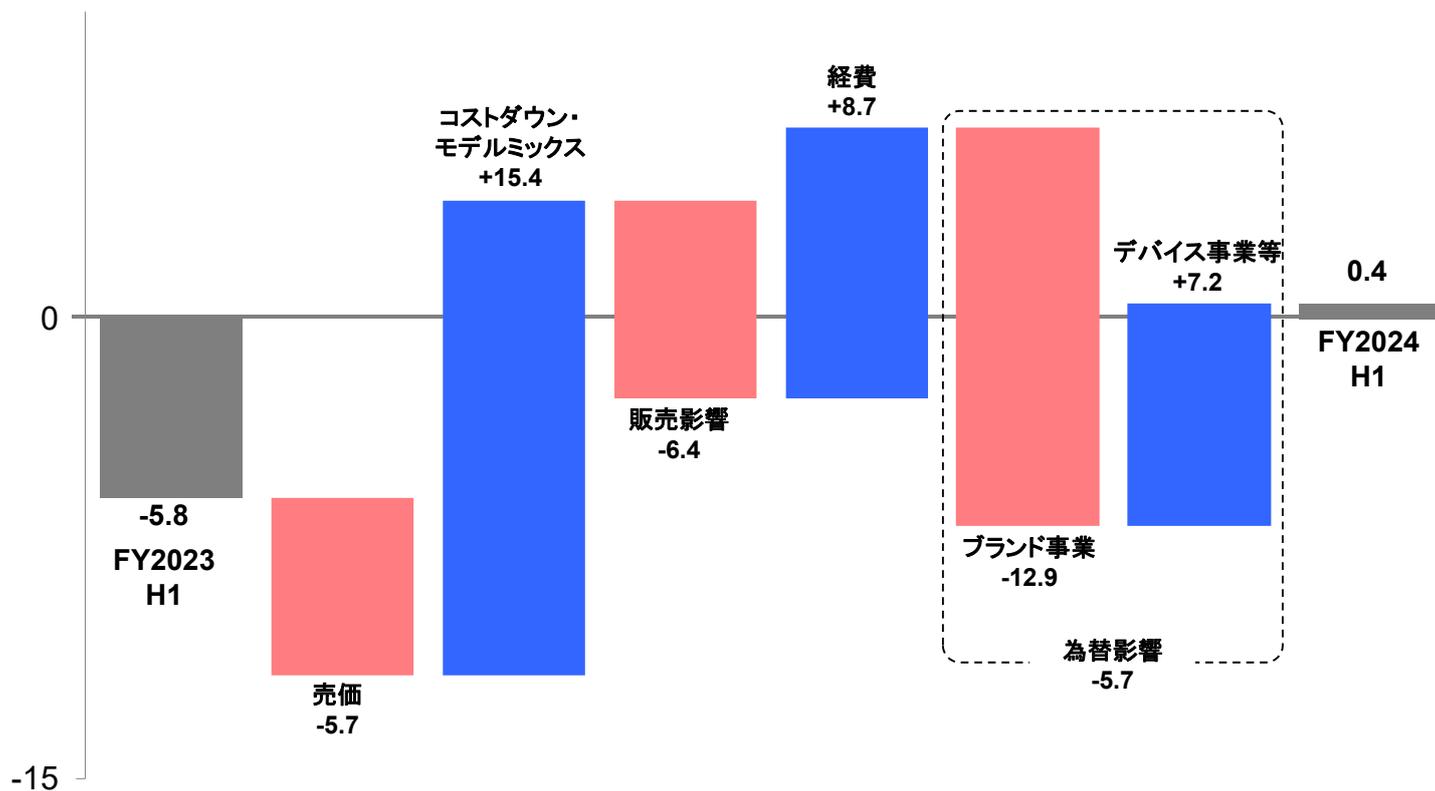


SHARP

- ・ 次のスライドをご覧ください。上期の業績です。
- ・ 売上高は、1兆964億円となりました。
- ・ 利益につきましては、営業利益は 4億円、経常利益は 14億円、最終利益は 229億円となっております。

営業利益 要因別増減分析(対前年同期)

(管理会計)
(単位:十億円)



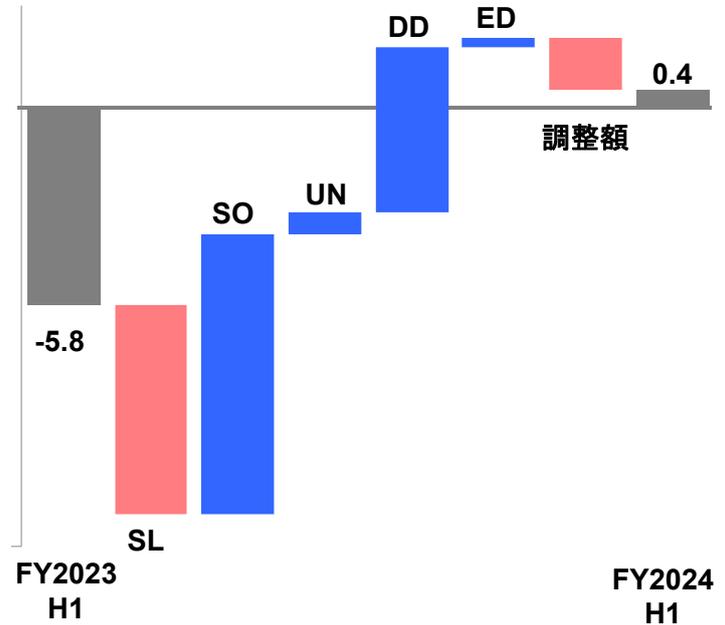
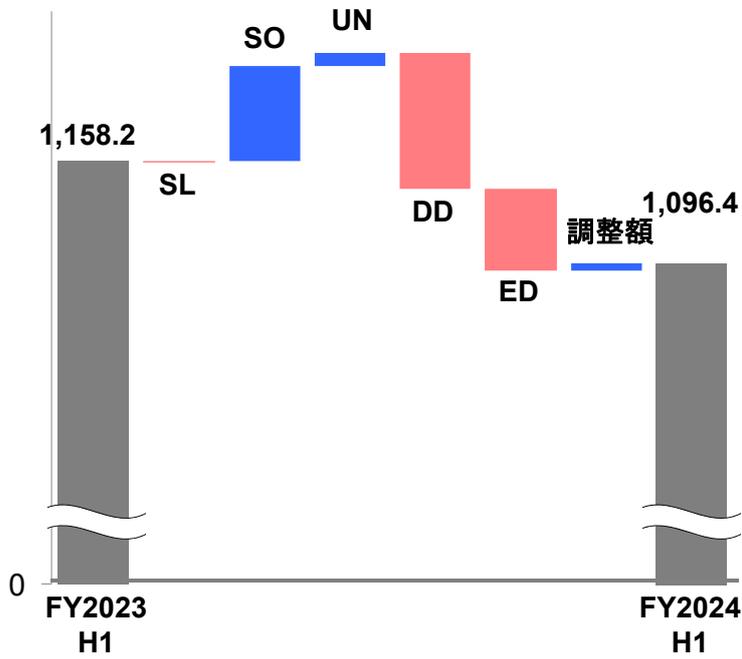
- 次のスライドに、営業利益の前年同期からの増減を要因別にまとめていますので、ご覧ください。

セグメント別増減分析(対前年同期)

売上高

営業利益

(単位:十億円)



SHARP

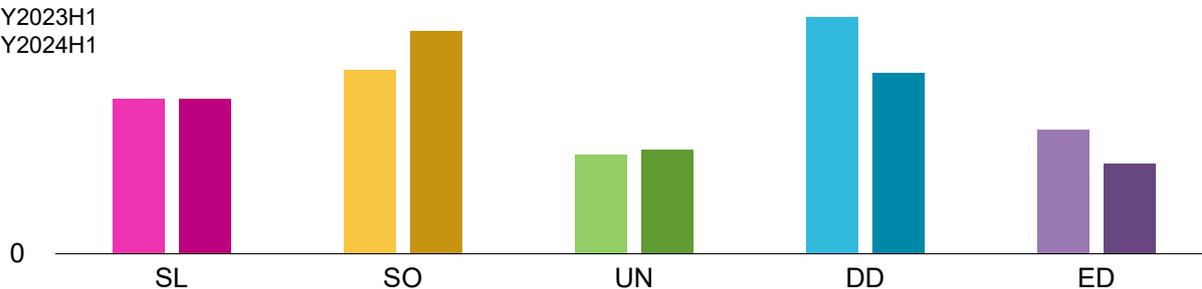
5

- ・ 次のスライドをご覧ください。
売上高と営業利益の増減をセグメント別にまとめています。
- ・ 売上高は、スマートオフィスとユニバーサルネットワークが増収となり、
営業利益は、スマートライフ&エナジーを除く4セグメントが
増益となっております。

セグメント別売上高

(単位:十億円)	FY2023			FY2024	
	上期	下期	通期	上期	Y on Y
スマートライフ&エナジー	229.0	223.4	452.5	229.0	-0.0%
スマートオフィス	271.4	310.5	582.0	329.6	+21.4%
ユニバーサルネットワーク	146.1	165.7	311.8	154.2	+5.5%
ブランド事業	646.6	699.7	1,346.4	712.9	+10.2%
ディスプレイデバイス	350.7	264.2	614.9	267.9	-23.6%
エレクトロニックデバイス	183.3	217.9	401.2	133.1	-27.4%
デバイス事業	534.0	482.1	1,016.1	401.0	-24.9%
小計	1,180.6	1,181.8	2,362.5	1,113.9	-5.7%
調整額	-22.4	-18.2	-40.6	-17.5	-
合計	1,158.2	1,163.6	2,321.9	1,096.4	-5.3%

左棒：FY2023H1
右棒：FY2024H1



SHARP

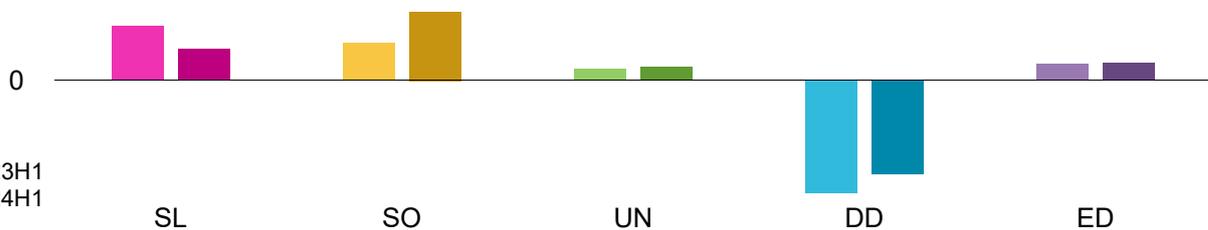
※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

6

- ・ 次は、セグメント別 売上高の一覧です。
 - ・ ブランド事業の売上高は、スマートオフィスが大きく伸長し、前年同期比 10.2%増の 7,129億円となりました。
- 一方、デバイス事業は、24.9%減の 4,010億円となりました。

セグメント別営業利益

(単位:十億円)	FY2023			FY2024	
	上期	下期	通期	上期	Y on Y
スマートライフ&エナジー	14.5 (6.3%)	13.2 (5.9%)	27.7 (6.1%)	8.3 (3.6%)	-42.5%
スマートオフィス	9.9 (3.7%)	19.7 (6.4%)	29.6 (5.1%)	18.2 (5.5%)	+83.3%
ユニバーサルネットワーク	3.0 (2.1%)	5.8 (3.5%)	8.8 (2.8%)	3.6 (2.4%)	+21.5%
ブランド事業	27.4 (4.2%)	38.8 (5.6%)	66.3 (4.9%)	30.2 (4.2%)	+10.0%
ディスプレイデバイス	-29.6 (-8.5%)	-53.6 (-20.3%)	-83.2 (-13.5%)	-24.8 (-9.3%)	-
エレクトロニックデバイス	4.3 (2.4%)	8.7 (4.0%)	13.1 (3.3%)	4.6 (3.5%)	+6.9%
デバイス事業	-25.2 (-4.7%)	-44.8 (-9.3%)	-70.1 (-6.9%)	-20.1 (-5.0%)	-
小計	2.1 (0.2%)	-5.9 (-0.5%)	-3.7 (-0.2%)	10.0 (0.9%)	+360.5%
調整額	-8.0	-8.5	-16.5	-9.6	-
合計	-5.8 (-0.5%)	-14.4 (-1.2%)	-20.3 (-0.9%)	0.4 (0.0%)	-



左棒：FY2023H1
右棒：FY2024H1

SHARP

※()内の数字は営業利益率です。

7

- 次は、セグメント別 営業利益の一覧になります。
- ブランド事業の営業利益は、スマートオフィスとユニバーサルネットワークが大幅な増益となり、前年同期比 10.0%増の 302億円となりました。

また、スマートライフ&エナジーは、欧州のエネルギーソリューション事業で一過性の費用が発生したものの、引き続き、安定して利益を計上しております。

一方、デバイス事業は、前年同期の252億円の赤字に対し、51億円改善し、201億円の赤字となっております。

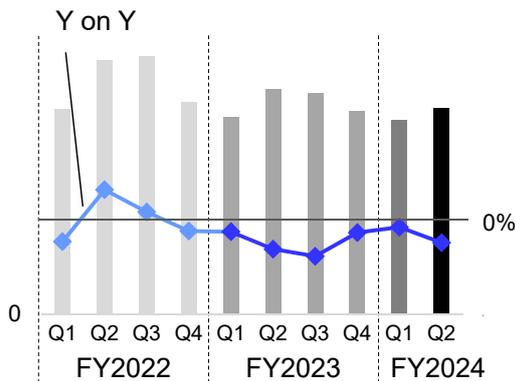
Ⅱ. 2024年度 第2四半期 決算概要

- ・ 次に、2024年度 第2四半期の実績について、ご説明させていただきます。

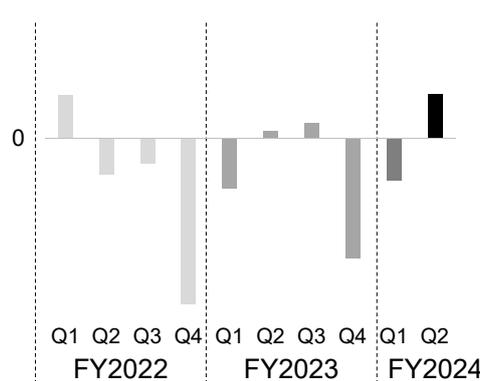
2024年度 第2四半期 連結業績概要

(単位:十億円)	FY2023				FY2024		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Y on Y
売上高	541.2	617.0	606.4	557.2	531.9	564.4	-8.5%
営業利益	-7.0 (-1.3%)	1.1 (0.2%)	2.2 (0.4%)	-16.7 (-3.0%)	-5.8 (-1.1%)	6.2 (1.1%)	+425.9%
経常利益	-0.5 (-0.1%)	3.5 (0.6%)	3.5 (0.6%)	-13.6 (-2.5%)	-10.1 (-1.9%)	11.6 (2.1%)	+226.5%
最終利益	5.5 (1.0%)	-0.5 (-0.1%)	-2.9 (-0.5%)	-152.0 (-27.3%)	-1.2 (-0.2%)	24.2 (4.3%)	-
平均為替レート							
ドル円	137.37	144.63	147.89	148.60	155.89	149.32	
ユーロ円	149.46	157.29	159.10	161.30	167.88	163.95	

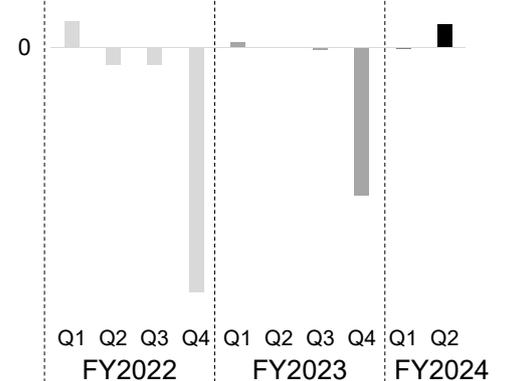
売上高



営業利益



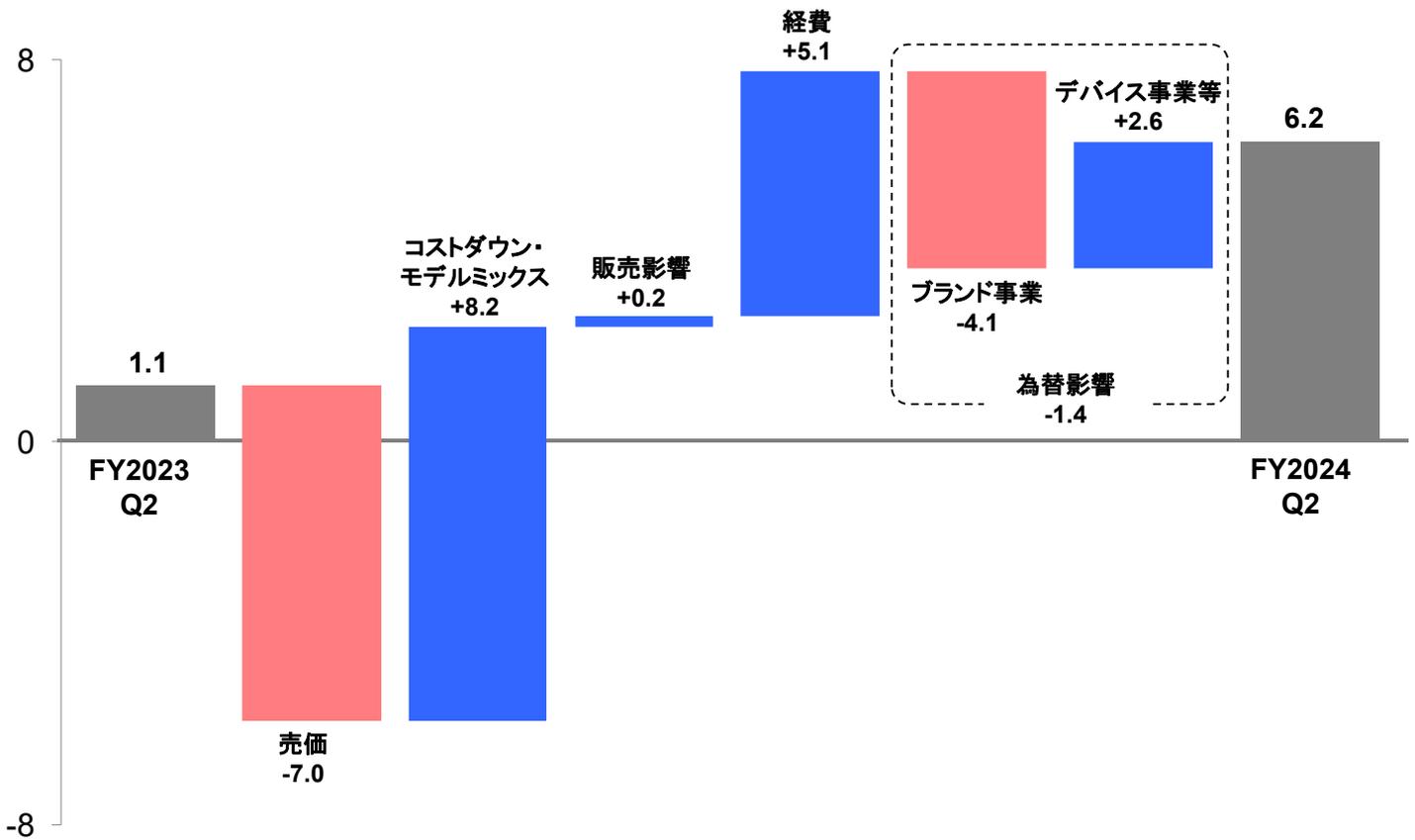
最終利益



- ・ 次のスライドをご覧ください。第2四半期の業績です。
- ・ 売上高は、5,644億円となりました。
- ・ 利益につきましては、営業利益は 62億円、経常利益は 116億円、最終利益は 242億円となっております。

営業利益 要因別増減分析(対前年同期)

(管理会計)
(単位:十億円)



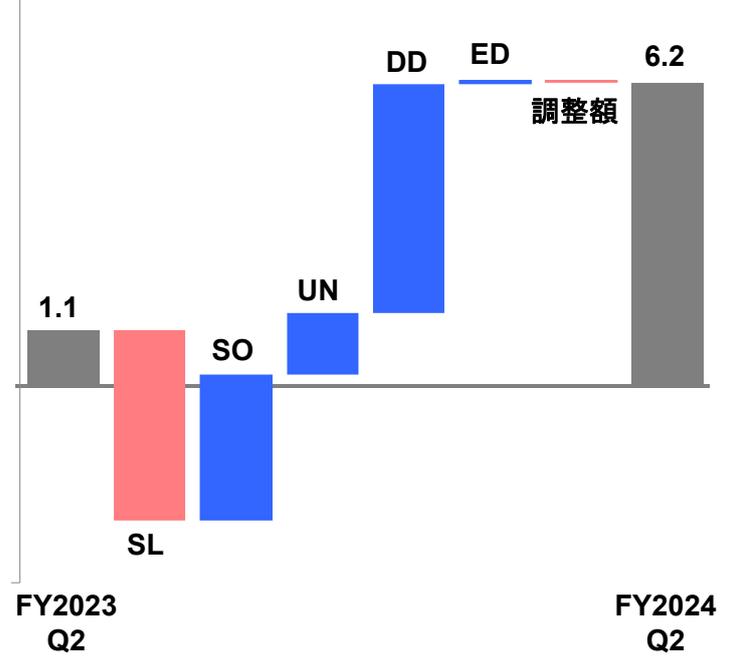
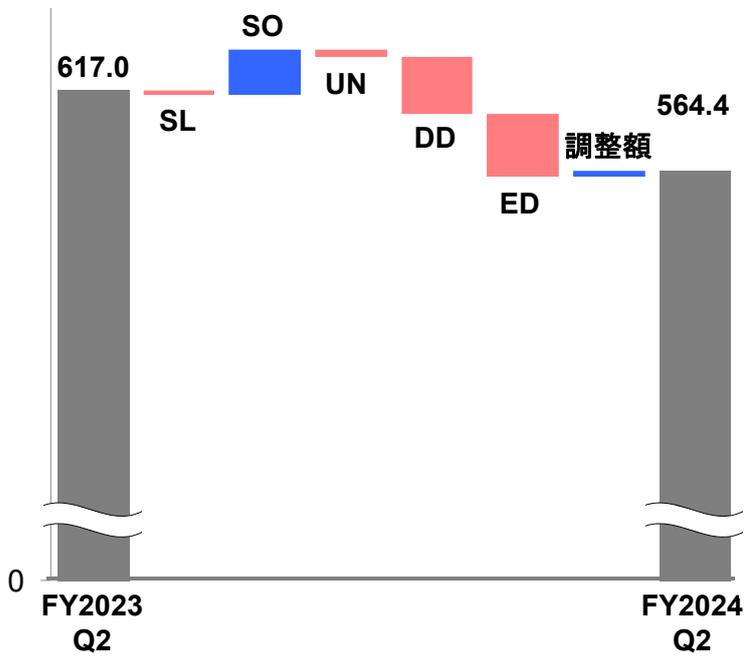
- ・ 次のスライドに、営業利益の前年同期からの増減を要因別にまとめていますので、ご覧ください。

セグメント別増減分析(対前年同期)

売上高

営業利益

(単位:十億円)

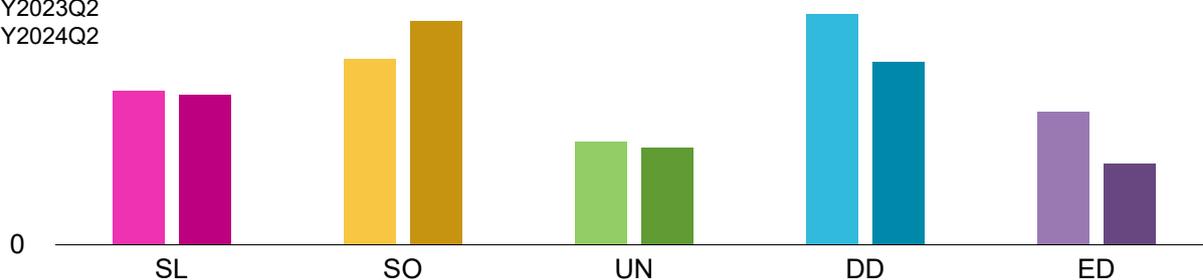


- 次のスライドをご覧ください。
売上高と営業利益の増減をセグメント別にまとめています。

セグメント別売上高

(単位:十億円)	FY2023				FY2024		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Y on Y
スマートライフ&エナジー	109.2	119.8	109.2	114.1	112.4	116.6	-2.7%
スマートオフィス	126.6	144.8	150.2	160.2	155.6	173.9	+20.1%
ユニバーサルネットワーク	65.7	80.3	92.5	73.1	78.5	75.6	-5.9%
ブランド事業	301.5	345.0	352.1	347.6	346.6	366.2	+6.1%
ディスプレイデバイス	171.3	179.4	126.3	137.8	125.2	142.6	-20.5%
エレクトロニックデバイス	79.5	103.8	137.0	80.8	69.8	63.2	-39.1%
デバイス事業	250.8	283.2	263.3	218.7	195.1	205.8	-27.3%
小計	552.4	628.2	615.5	566.3	541.8	572.1	-8.9%
調整額	-11.1	-11.2	-9.1	-9.1	-9.8	-7.6	-
合計	541.2	617.0	606.4	557.2	531.9	564.4	-8.5%

左棒：FY2023Q2
右棒：FY2024Q2



SHARP

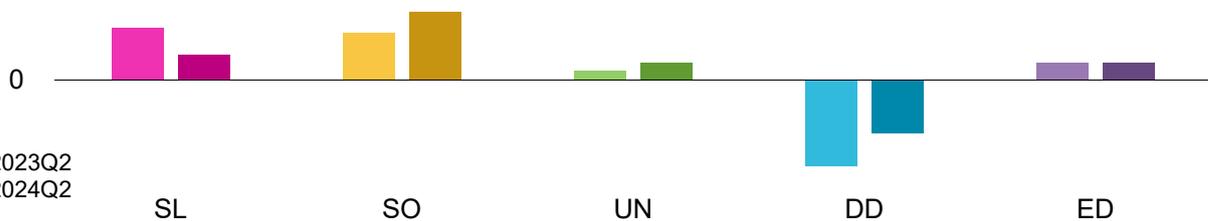
※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

12

- ・ 次は、セグメント別 売上高の一覧です。
- ・ ブランド事業の売上高は、前年同期比 6.1%増の 3,662億円となりました。一方、デバイス事業は、27.3%減の 2,058億円となりました。

セグメント別営業利益

(単位:十億円)	FY2023				FY2024		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Y on Y
スマートライフ&エナジー	7.0 (6.4%)	7.4 (6.2%)	5.3 (4.9%)	7.8 (6.9%)	4.7 (4.3%)	3.5 (3.1%)	-52.4%
スマートオフィス	3.1 (2.5%)	6.7 (4.7%)	9.0 (6.0%)	10.7 (6.7%)	8.4 (5.4%)	9.8 (5.6%)	+44.2%
ユニバーサルネットワーク	1.7 (2.7%)	1.2 (1.6%)	4.6 (5.0%)	1.2 (1.7%)	1.1 (1.4%)	2.5 (3.3%)	+99.2%
ブランド事業	11.9 (4.0%)	15.5 (4.5%)	19.0 (5.4%)	19.8 (5.7%)	14.3 (4.1%)	15.8 (4.3%)	+2.2%
ディスプレイデバイス	-17.3 (-10.1%)	-12.3 (-6.9%)	-19.7 (-15.6%)	-33.8 (-24.6%)	-17.1 (-13.7%)	-7.6 (-5.4%)	-
エレクトロニックデバイス	1.9 (2.5%)	2.4 (2.3%)	7.5 (5.5%)	1.2 (1.5%)	2.1 (3.1%)	2.5 (4.0%)	+3.6%
デバイス事業	-15.3 (-6.1%)	-9.9 (-3.5%)	-12.2 (-4.6%)	-32.6 (-14.9%)	-15.0 (-7.7%)	-5.1 (-2.5%)	-
小計	-3.4 (-0.6%)	5.6 (0.9%)	6.8 (1.1%)	-12.8 (-2.3%)	-0.6 (-0.1%)	10.7 (1.9%)	+91.1%
調整額	-3.6	-4.4	-4.5	-3.9	-5.1	-4.4	-
合計	-7.0 (-1.3%)	1.1 (0.2%)	2.2 (0.4%)	-16.7 (-3.0%)	-5.8 (-1.1%)	6.2 (1.1%)	+425.9%



SHARP

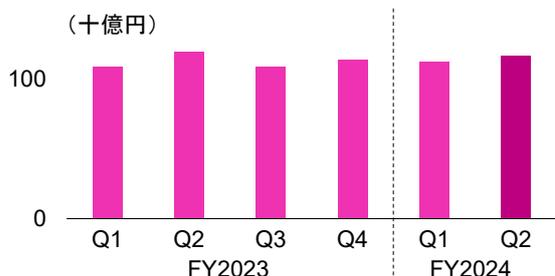
※()内の数字は営業利益率です。

13

- 次は、セグメント別 営業利益の一覧になります。
- ブランド事業の営業利益は、前年同期比 2.2%増の 158億円となりました。
一方、デバイス事業は、前年同期の99億円の赤字に対し、48億円改善し、51億円の赤字となっております。

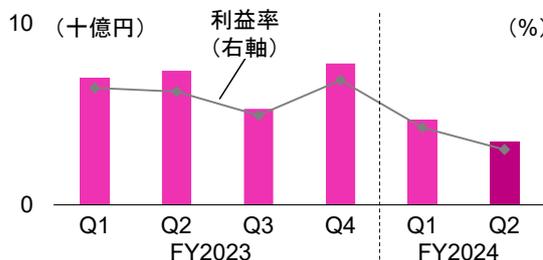
(単位:十億円)	FY2023				FY2024		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Y on Y
売上高	109.2	119.8	109.2	114.1	112.4	116.6	-2.7%
営業利益	7.0	7.4	5.3	7.8	4.7	3.5	-52.4%
(利益率)	(6.4%)	(6.2%)	(4.9%)	(6.9%)	(4.3%)	(3.1%)	

売上高(減収)



- (減) 国内で洗濯機の価格競争が激化、冷蔵庫の需要が低調
- (減) エネルギーソリューション事業では、EPCが減少
- (増) 国内で美容家電や調理家電が大きく伸長
- (増) ASEANで大型・高付加価値モデルへシフトが進んだ冷蔵庫が大きく伸長し、洗濯機も堅調に推移
- (増) 米国で高付加価値モデルを中心に調理家電が伸長

営業利益(減益)



- (減) 欧州エネルギーソリューション事業で一過性の費用
- (減) エネルギーソリューション事業の販売減
- (減) 円安影響
- (増) 海外の調理家電や冷蔵庫の販売増
- (増) 各事業で高付加価値化が進展
- (増) コストダウン



・ 次は、セグメントごとの概況になります。まずは、スマートライフ&エナジーです。

・ 売上高は、白物家電事業が増収、エネルギーソリューション事業が減収となり、前年同期比 2.7%減の 1,166億円となりました。

白物家電事業では、国内が減収、海外が増収となっています。

国内では、美容家電や調理家電が大きく伸長しましたが、価格競争が激しかった洗濯機や需要が低調だった冷蔵庫などが前年同期に及びませんでした。

海外では、大型・高付加価値モデルへのシフトにより冷蔵庫が大きく伸長し、洗濯機も堅調に推移したASEANの売上が前年同期を上回りました。

また、高付加価値モデルを中心に調理家電が伸長した米国も増収となりました。

一方、エネルギーソリューション事業では、EPCが大幅な減収となりました。

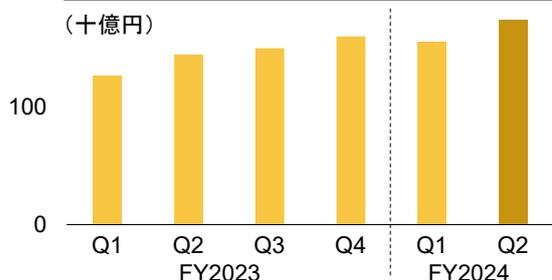
・ 営業利益は、52.4%減の 35億円となりました。

円安の影響があるなか、欧州のエネルギーソリューション事業で一過性の費用が発生したこともあり、減益となりましたが、

白物家電事業は、第1四半期並みの利益水準を維持しており、セグメント全体で、引き続き、安定した利益を計上できています。

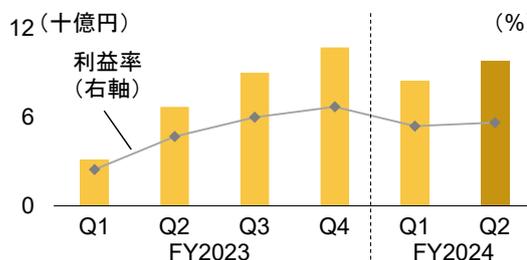
(単位:十億円)	FY2023				FY2024		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Y on Y
売上高	126.6	144.8	150.2	160.2	155.6	173.9	+20.1%
営業利益	3.1	6.7	9.0	10.7	8.4	9.8	+44.2%
(利益率)	(2.5%)	(4.7%)	(6.0%)	(6.7%)	(5.4%)	(5.6%)	

売上高(増収)



- (増) 日本でオフィスソリューションやインフォメーションディスプレイが好調、MFPも伸長
- (増) 欧州のMFPや米州のオフィスソリューションが大きく伸長
- (増) PC事業では、法人向けプレミアムモデルが、引き続き好評、LCM※機能を強化した効果もあり、法人向けの売上が大きく伸長
- (減) 中国のMFPやインフォメーションディスプレイの市況が低調

営業利益(増益)



- (増) 売上増
- (増) PC事業・オフィスソリューション事業の高付加価値化
- (増) インフォメーションディスプレイ事業は構造改革が進み安定的に利益を計上

※Life Cycle Management

PCの選定・調達・導入・展開・運用・保守・撤去・更新までをトータルで請け負うサービス



・ 次は、スマートオフィスです。

・ 売上高は、ビジネスソリューション事業・PC事業とも増収となり、前年同期比 20.1%増の 1,739億円となりました。

ビジネスソリューション事業は、国内外とも増収となっています。

国内では、オフィスソリューションやインフォメーションディスプレイが好調でMFPも前年同期を上回りました。

また、海外では、欧州のMFPや米州のオフィスソリューションなどが大きく伸長しました。

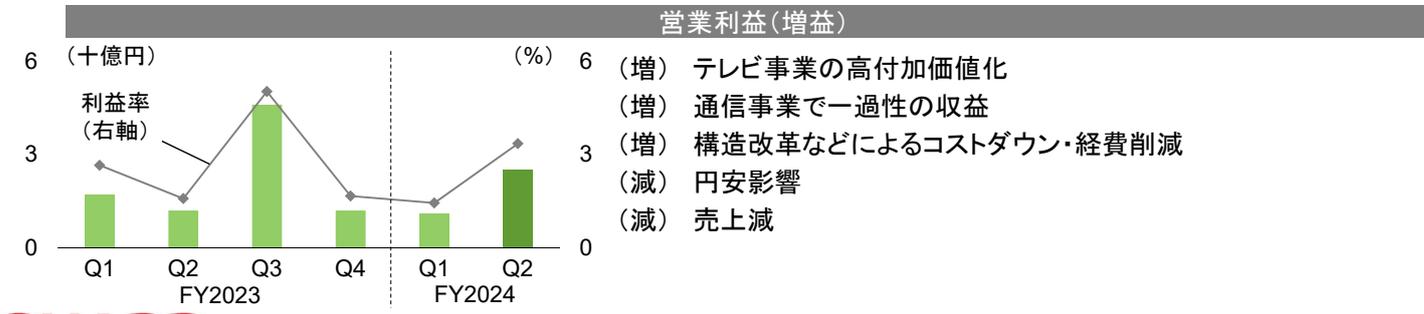
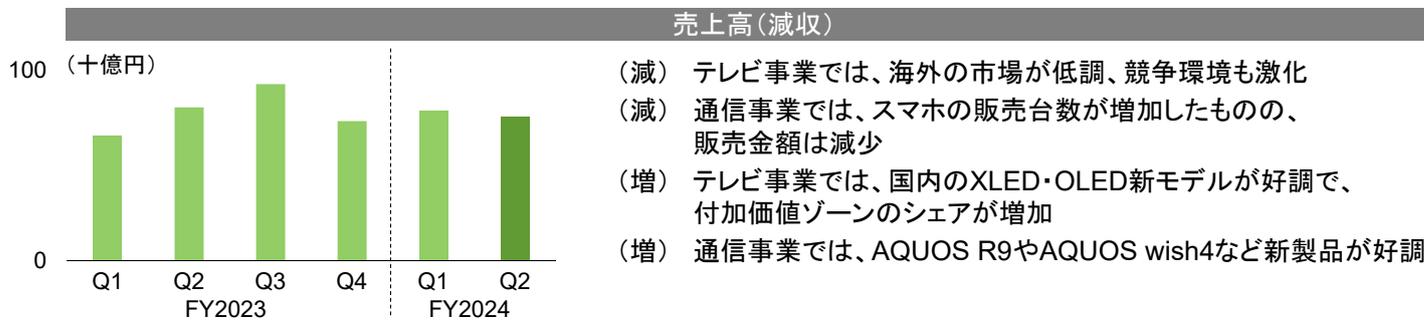
PC事業では、引き続き、法人向けプレミアムモデルが好評で、マネジメンサービスも徐々に拡大していることから、国内で法人向けや官公庁向けが、大幅な増収となりました。

・ 営業利益は、44.2%増の 98億円となりました。

売上高が伸長したこと、

PC事業・オフィスソリューション事業の高付加価値化が進んでいることに加え、課題であったインフォメーションディスプレイ事業も、構造改革が進展し、安定的に利益を計上していることから、大幅な増益となりました。

(単位:十億円)	FY2023				FY2024		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Y on Y
売上高	65.7	80.3	92.5	73.1	78.5	75.6	-5.9%
営業利益 (利益率)	1.7 (2.7%)	1.2 (1.6%)	4.6 (5.0%)	1.2 (1.7%)	1.1 (1.4%)	2.5 (3.3%)	+99.2%



・ 次は、ユニバーサルネットワークになります。

・ 売上高は、テレビ事業・通信事業とも減収となり、前年同期比 5.9%減の 756億円となりました。

テレビ事業では、海外の市場が低調で競争環境も激しかったことなどから、減収となりました。

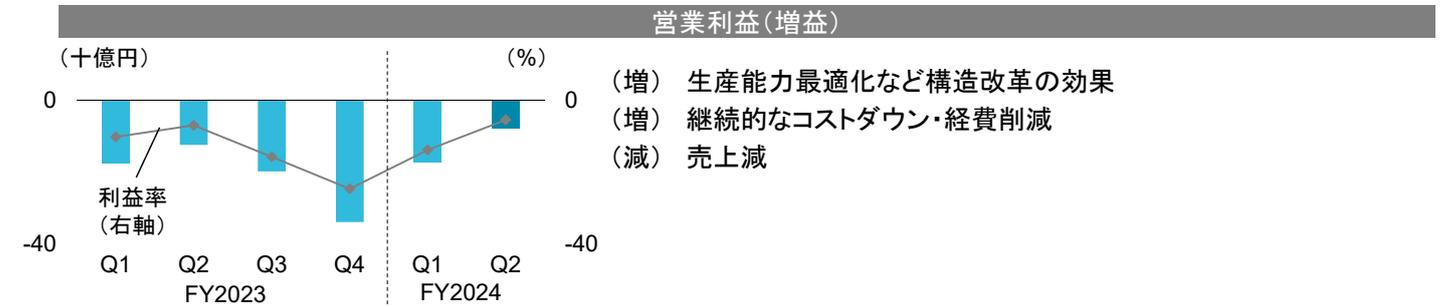
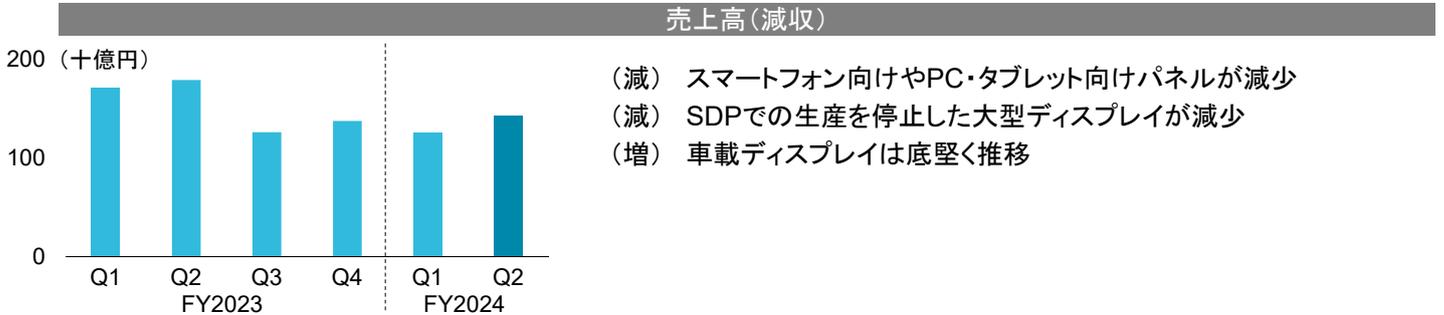
なお、国内では、XLED・OLEDの新モデルが好調で、付加価値ゾーンのシェアが増加しています。

通信事業も減収となりましたが、スマートフォンの販売台数は増加しており、特にAQUOS R9やAQUOS wish4など新製品の販売は好調でした。

・ 営業利益は、前年同期比99.2%増の25億円となりました。

構造改革などにより、コストダウン・経費削減を進めたことに加え、一過性の収益が発生したこともあり、増益となりました。

(単位:十億円)	FY2023				FY2024		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Y on Y
売上高	171.3	179.4	126.3	137.8	125.2	142.6	-20.5%
営業利益	-17.3	-12.3	-19.7	-33.8	-17.1	-7.6	-
(利益率)	(-10.1%)	(-6.9%)	(-15.6%)	(-24.6%)	(-13.7%)	(-5.4%)	



・ 次は、ディスプレイデバイスです。

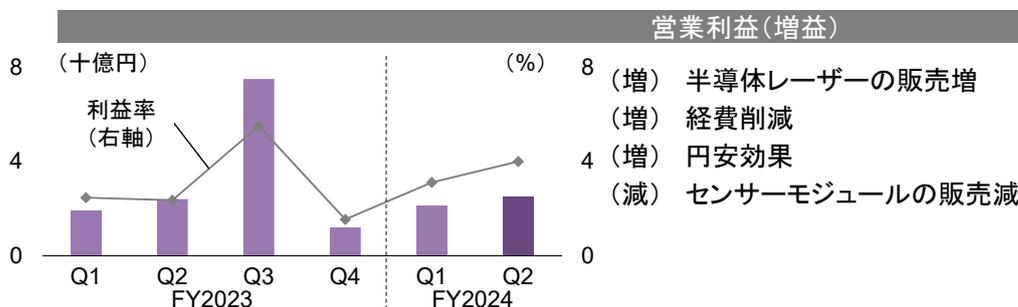
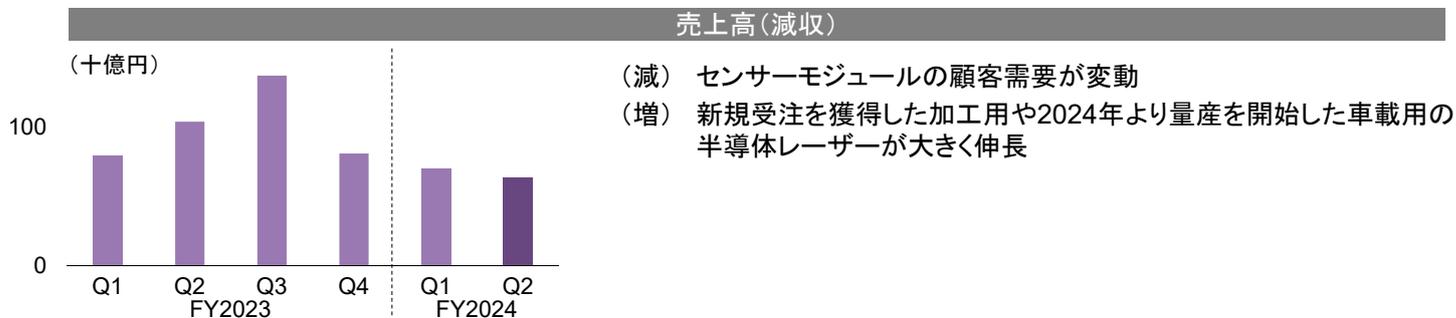
・ 売上高は、前年同期比 20.5%減の 1,426億円となりました。

車載向けのディスプレイは底堅く推移したものの、スマートフォン向けやPC・タブレット向けのディスプレイや、堺ディスプレイプロダクトでの生産を停止した大型ディスプレイが減収となりました。

・ 営業利益については、前年同期の123億円の赤字に対して、47億円改善し、76億円の赤字となりました。

生産能力の最適化などの構造改革を進めた効果もあり、赤字が大幅に縮小しています。

(単位:十億円)	FY2023				FY2024		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Y on Y
売上高	79.5	103.8	137.0	80.8	69.8	63.2	-39.1%
営業利益 (利益率)	1.9 (2.5%)	2.4 (2.3%)	7.5 (5.5%)	1.2 (1.5%)	2.1 (3.1%)	2.5 (4.0%)	+3.6%



・ 次は、エレクトロニックデバイスです。

・ 売上高は、前年同期比 39.1%減の 632億円となりました。

新規受注を獲得した加工用や2024年より量産を開始した車載用の半導体レーザーが大きく伸長しましたが、センサーモジュールの顧客需要が変動した影響がありました。

・ 営業利益は、前年同期比 3.6%増の25億円となりました。

センサーモジュールが減収となった影響はあったものの、半導体レーザーの売上が伸長したこと、経費削減を進めたことなどから、増益となりました。

営業外損益・特別損益・法人税等の概要

(単位:十億円)	FY2023				FY2024		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Y on Y 増減額
営業利益	-7.0	1.1	2.2	-16.7	-5.8	6.2	+5.1
営業外損益	+6.5	+2.3	+1.2	+3.0	-4.3	+5.3	+3.0
内:支払利息	-2.9	-2.6	-2.5	-2.6	-2.6	-2.1	+0.5
為替差損益	+6.2	+2.9	+0.4	+3.7	-7.4	+4.3	+1.4
投資関連収益・費用	+0.2	+0.3	+0.3	+0.1	+0.2	+0.8	+0.5
持分法による投資損益	+1.3	+2.4	+2.9	+1.5	+2.3	+2.4	0.0
経常利益	-0.5	3.5	3.5	-13.6	-10.1	11.6	+8.1
特別損益	+9.3	-0.9	-3.4	-135.4	+11.7	+18.2	+19.1
内:投資有価証券売却益	-	+0.1	-	-	+10.1	+18.1	+18.0
固定資産売却益	+0.5	+2.0	+0.6	+0.3	+0.0	+0.0	-2.0
段階取得に係る差益	+1.3	-	-	-	-	+0.7	+0.7
持分変動利益	+4.2	-	-	-	+2.7	-	-
債務取崩益	+4.8	-	-	-	+3.5	-	-
受取補償金	-	-	-	-	-	+3.8	+3.8
事業構造改革費用	-	-0.6	-0.2	-10.8	-3.4	+1.0	+1.6
減損損失	-1.4	-1.8	-1.0	-117.9	-1.2	-5.6	-3.8
事業売却損	-	-	-2.3	-	-	-	-
受注生産中止に伴う損失	-	-	-	-4.7	-	-	-
税前利益	8.8	2.6	0.0	-149.1	1.6	29.8	+27.2
法人税等 他	-3.2	-3.2	-3.0	-2.8	-2.8	-5.6	-2.4
最終利益	5.5	-0.5	-2.9	-152.0	-1.2	24.2	+24.7

SHARP

19

- ・ 次は、主な「営業外損益」・「特別損益」・「法人税等」の概要です。
- ・ 当第2四半期には、営業外損益として、「為替差益」、特別損益として、「投資有価証券売却益」や中小型ディスプレイに係る「減損損失」などを計上しています。

連結貸借対照表推移

・現預金は 2,488億円、純資産は 1,450億円、自己資本比率は 8.4%となる

(単位:十億円)

	FY2023	FY2024			FY2023	FY2024	
	3月末	6月末	9月末		3月末	6月末	9月末
現預金	227.1	238.1	248.8	買掛金等	355.2	362.5	335.9
売掛金等	407.5	419.7	408.0	短期借入金	115.9	139.2	122.1
棚卸資産	269.5	295.2	272.0	1年内社債	0.0	0.0	0.0
その他	85.9	89.8	72.7	その他	385.1	387.9	368.4
流動資産計	990.2	1,043.0	1,001.7	流動負債計	856.3	889.6	826.4
有形固定資産	280.1	280.5	271.2	社債	0.0	0.0	0.0
無形固定資産	31.0	30.4	34.2	長期借入金	457.6	458.1	456.7
投資その他資産	288.5	291.4	243.6	その他	118.6	115.8	122.5
固定資産計	599.8	602.4	549.1	固定負債計	576.2	574.0	579.3
資産合計	1,590.0	1,645.5	1,550.9	純資産	157.4	181.8	145.0
				負債純資産合計	1,590.0	1,645.5	1,550.9
期末日レート							
ドル円	151.40	161.14	142.82	自己資本比率	9.0%	10.1%	8.4%
ユーロ円	163.28	172.44	159.53	自己資本	142.4	165.8	129.9

SHARP

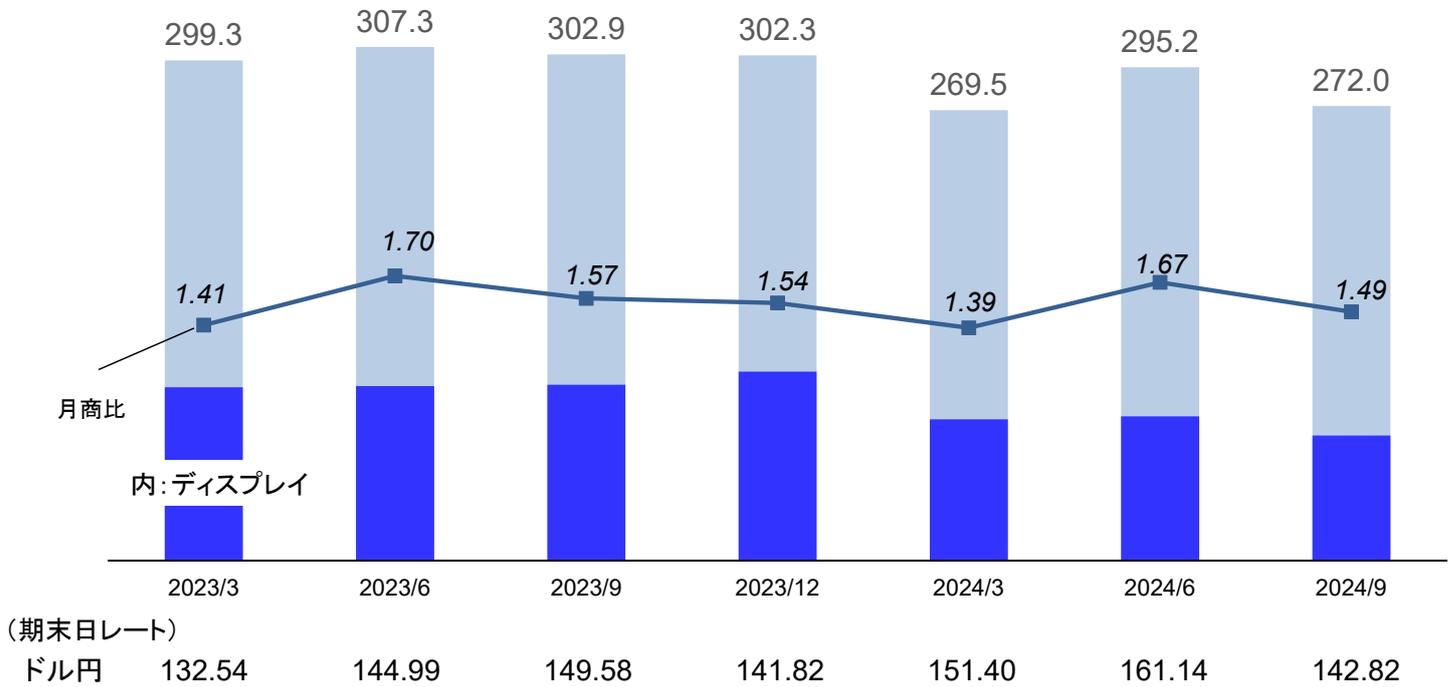
20

- ・次は、貸借対照表の推移です。
- ・「現預金」は、2024年6月末の 2,381億円に対し、2,488億円に、
「純資産」は 1,818億円に対し、1,450億円に、
「自己資本比率」は、10.1%に対し、8.4%になりました。

棚卸資産の推移

・棚卸資産は、6月末の2,952億円に対し、2,720億円に減少

(単位:十億円、ヶ月)



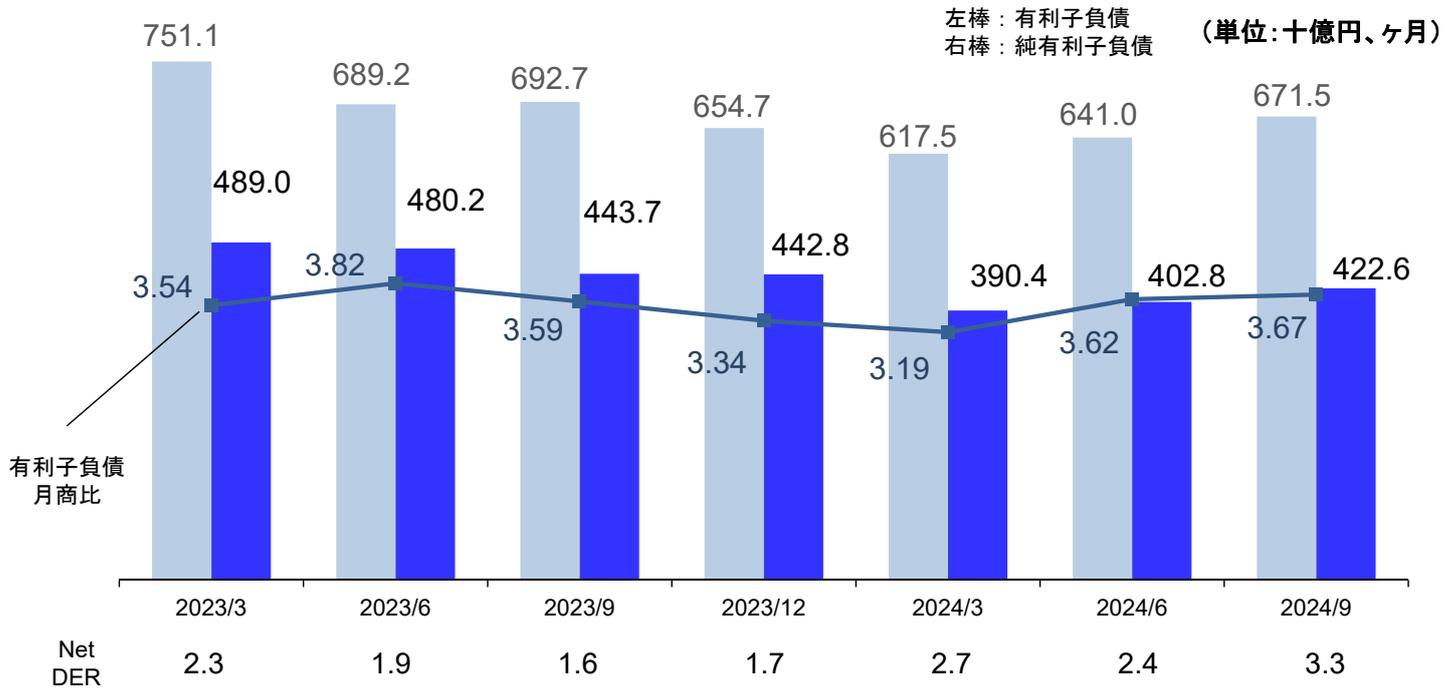
SHARP

21

- ・次は、棚卸資産の推移になります。
- ・棚卸資産は、6月末の2,952億円に対し、2,720億円に減少しています。
前年同期末と比較しても、減少しており、
今後の販売計画に沿った適正水準となっております。
- ・引き続き、状況の変化を注視し、適正な在庫の管理に努めてまいります。

有利子負債の推移

・純有利子負債は、6月末の4,028億円に対し、4,226億円に



SHARP

※純有利子負債：有利子負債 - 現預金

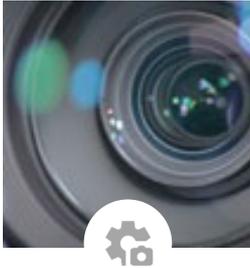
22

- ・次は、有利子負債の推移です。
- ・純有利子負債は、6月末の4,028億円に対し、4,226億円となっております。

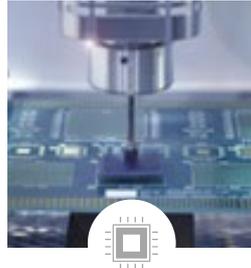
Ⅲ. 2024年度 通期 業績予想

- ・ 次は、2024年度の通期 業績予想です。

2024年度の重点取り組み(アセットライト化)



カメラモジュール事業
(シャープセンシングテクノロジー㈱)



半導体事業
(シャープ福山レーザー㈱)



グリーンフロント堺
(SDP液晶工場及び関連施設)

FY2024Q3 譲渡契約締結、
Q4 クロージングに向け、鴻海と最終協議中

①ソフトバンク社

FY2024中の土地/建屋譲渡契約締結に
向け最終協議中

②KDDI社

FY2025中のAIデータセンター本格稼働に
合わせ、諸条件について協議中

- ・ まず、2024年度の重点取り組みであるアセットライト化の進捗状況です。
- ・ カメラモジュールと半導体については、第3四半期での譲渡契約の締結と、第4四半期でのクロージングに向け、鴻海と最終協議中です。

また、グリーンフロント堺については、ソフトバンク社と2024年度中の土地・建屋の譲渡契約締結に向けて、最終協議を行っており、KDDI社とも、2025年度中のAIデータセンター本格稼働に合わせ、諸条件について協議を行っています。

2024年度 通期 業績予想

(単位:十億円)

	FY2023	FY2024	
	通期	通期予想	Y on Y
売上高	2,321.9	2,100.0	-9.6%
営業利益 (利益率)	-20.3 (-0.9%)	10.0 (0.5%)	-
経常利益 (利益率)	-7.0 (-0.3%)	10.0 (0.5%)	-
最終利益 (利益率)	-149.9 (-6.5%)	5.0 (0.2%)	-
平均為替レート			
ドル円	144.62	150.00	
ユーロ円	156.79	160.00	

SHARP

25

- ・ 次のスライドをご覧ください。2024年度の通期 業績予想になります。
- ・ ここまで、業績が、ほぼ想定通りに推移しておりますので、通期の業績予想は据え置いております。

なお、先ほど、ご覧いただきました通り、当社では、アセットライト化の一環として、資産売却等を進めていますが、他社と協議中であるため、業績予想には織り込んでいません。今後、業績予想を修正する必要がある場合には、速やかに公表させていただきます。

- ・ ご清聴ありがとうございました。

IV. 補足資料

連結業績概要

(単位:十億円)

	FY2023			FY2024		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	1,158.2	1,163.6	2,321.9	1,096.4	1,003.6	2,100.0
営業利益	-5.8	-14.4	-20.3	0.4	9.6	10.0
(利益率)	(-0.5%)	(-1.2%)	(-0.9%)	(0.0%)	(0.9%)	(0.5%)
経常利益	3.0	-10.1	-7.0	1.4	8.6	10.0
(利益率)	(0.3%)	(-0.9%)	(-0.3%)	(0.1%)	(0.9%)	(0.5%)
最終利益	4.9	-154.9	-149.9	22.9	-17.9	5.0
(利益率)	(0.4%)	(-13.3%)	(-6.5%)	(2.1%)	(-1.8%)	(0.2%)

SHARP

S-2

四半期 連結業績概要

(単位:十億円)

	FY2023				FY2024	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
売上高	541.2	617.0	606.4	557.2	531.9	564.4
営業利益	-7.0	1.1	2.2	-16.7	-5.8	6.2
(利益率)	(-1.3%)	(0.2%)	(0.4%)	(-3.0%)	(-1.1%)	(1.1%)
経常利益	-0.5	3.5	3.5	-13.6	-10.1	11.6
(利益率)	(-0.1%)	(0.6%)	(0.6%)	(-2.5%)	(-1.9%)	(2.1%)
最終利益	5.5	-0.5	-2.9	-152.0	-1.2	24.2
(利益率)	(1.0%)	(-0.1%)	(-0.5%)	(-27.3%)	(-0.2%)	(4.3%)

SHARP

S-3

セグメント別売上高

(単位:十億円)

	FY2023			FY2024
	上期	下期	通期	上期
スマートライフ&エナジー	229.0	223.4	452.5	229.0
スマートオフィス	271.4	310.5	582.0	329.6
ユニバーサルネットワーク	146.1	165.7	311.8	154.2
ブランド事業	646.6	699.7	1,346.4	712.9
ディスプレイデバイス	350.7	264.2	614.9	267.9
エレクトロニックデバイス	183.3	217.9	401.2	133.1
デバイス事業	534.0	482.1	1,016.1	401.0
小計	1,180.6	1,181.8	2,362.5	1,113.9
調整額	-22.4	-18.2	-40.6	-17.5
合計	1,158.2	1,163.6	2,321.9	1,096.4

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

SHARP

S-4

セグメント別営業利益

(単位:十億円)

	FY2023			FY2024
	上期	下期	通期	上期
スマートライフ&エナジー	14.5 (6.3%)	13.2 (5.9%)	27.7 (6.1%)	8.3 (3.6%)
スマートオフィス	9.9 (3.7%)	19.7 (6.4%)	29.6 (5.1%)	18.2 (5.5%)
ユニバーサルネットワーク	3.0 (2.1%)	5.8 (3.5%)	8.8 (2.8%)	3.6 (2.4%)
ブランド事業	27.4 (4.2%)	38.8 (5.6%)	66.3 (4.9%)	30.2 (4.2%)
ディスプレイデバイス	-29.6 (-8.5%)	-53.6 (-20.3%)	-83.2 (-13.5%)	-24.8 (-9.3%)
エレクトロニックデバイス	4.3 (2.4%)	8.7 (4.0%)	13.1 (3.3%)	4.6 (3.5%)
デバイス事業	-25.2 (-4.7%)	-44.8 (-9.3%)	-70.1 (-6.9%)	-20.1 (-5.0%)
小計	2.1 (0.2%)	-5.9 (-0.5%)	-3.7 (-0.2%)	10.0 (0.9%)
調整額	-8.0	-8.5	-16.5	-9.6
合計	-5.8 (-0.5%)	-14.4 (-1.2%)	-20.3 (-0.9%)	0.4 (0.0%)

※()内の数字は営業利益率です。

SHARP

S-5

四半期 セグメント別売上高

(単位:十億円)

	FY2023				FY2024	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
スマートライフ&エナジー	109.2	119.8	109.2	114.1	112.4	116.6
スマートオフィス	126.6	144.8	150.2	160.2	155.6	173.9
ユニバーサルネットワーク	65.7	80.3	92.5	73.1	78.5	75.6
ブランド事業	301.5	345.0	352.1	347.6	346.6	366.2
ディスプレイデバイス	171.3	179.4	126.3	137.8	125.2	142.6
エレクトロニックデバイス	79.5	103.8	137.0	80.8	69.8	63.2
デバイス事業	250.8	283.2	263.3	218.7	195.1	205.8
小計	552.4	628.2	615.5	566.3	541.8	572.1
調整額	-11.1	-11.2	-9.1	-9.1	-9.8	-7.6
合計	541.2	617.0	606.4	557.2	531.9	564.4

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

SHARP

S-6

四半期 セグメント別営業利益

(単位:十億円)

	FY2023				FY2024	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
スマートライフ&エナジー	7.0 (6.4%)	7.4 (6.2%)	5.3 (4.9%)	7.8 (6.9%)	4.7 (4.3%)	3.5 (3.1%)
スマートオフィス	3.1 (2.5%)	6.7 (4.7%)	9.0 (6.0%)	10.7 (6.7%)	8.4 (5.4%)	9.8 (5.6%)
ユニバーサルネットワーク	1.7 (2.7%)	1.2 (1.6%)	4.6 (5.0%)	1.2 (1.7%)	1.1 (1.4%)	2.5 (3.3%)
ブランド事業	11.9 (4.0%)	15.5 (4.5%)	19.0 (5.4%)	19.8 (5.7%)	14.3 (4.1%)	15.8 (4.3%)
ディスプレイデバイス	-17.3 (-10.1%)	-12.3 (-6.9%)	-19.7 (-15.6%)	-33.8 (-24.6%)	-17.1 (-13.7%)	-7.6 (-5.4%)
エレクトロニックデバイス	1.9 (2.5%)	2.4 (2.3%)	7.5 (5.5%)	1.2 (1.5%)	2.1 (3.1%)	2.5 (4.0%)
デバイス事業	-15.3 (-6.1%)	-9.9 (-3.5%)	-12.2 (-4.6%)	-32.6 (-14.9%)	-15.0 (-7.7%)	-5.1 (-2.5%)
小計	-3.4 (-0.6%)	5.6 (0.9%)	6.8 (1.1%)	-12.8 (-2.3%)	-0.6 (-0.1%)	10.7 (1.9%)
調整額	-3.6	-4.4	-4.5	-3.9	-5.1	-4.4
合計	-7.0 (-1.3%)	1.1 (0.2%)	2.2 (0.4%)	-16.7 (-3.0%)	-5.8 (-1.1%)	6.2 (1.1%)

※()内の数字は営業利益率です。

SHARP

S-7

設備投資・減価償却費等

(単位:十億円)

	FY2023			FY2024		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
設備投資	22.3	25.2	47.6	14.4	35.6	50.0
内:ディスプレイ	10.3	9.4	19.8	6.1	9.0	15.1
減価償却費	29.2	31.2	60.5	21.8	32.2	54.0
研究開発費	36.7	36.2	73.0	39.1	40.9	80.0

(単位:円)

平均為替レート	FY2023			FY2024	
	上期	下期	通期	上期	通期
米ドル	141.00	148.25	144.62	152.61	150.00
ユーロ	153.38	160.20	156.79	165.91	160.00

四半期 設備投資・減価償却費等

(単位:十億円)

	FY2023				FY2024	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
設備投資	8.9	13.3	13.4	11.8	6.2	8.1
内:ディスプレイ	4.0	6.3	5.8	3.6	2.5	3.5
減価償却費	14.1	15.1	15.6	15.5	11.0	10.8
研究開発費	17.6	19.1	18.0	18.2	17.2	21.9

(単位:円)

平均為替レート	FY2023				FY2024	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
米ドル	137.37	144.63	147.89	148.60	155.89	149.32
ユーロ	149.46	157.29	159.10	161.30	167.88	163.95

【見通しに関する注意事項】

本資料に記載されている内容には、シャープ株式会社及び連結子会社（以下、総称して「シャープ」という）の計画、戦略、業績など将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は過去または現在の事実ではなく、現時点で入手可能な情報から得られたシャープの仮定や判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性及びその他の要因が内在しています。それらの影響により、シャープの実際の業績、事業活動、財務状況は、これらの見通しと大きく異なる場合があります。また、新たな情報、将来の事象、その他にかかわらず、シャープが将来の見通しに関する記述を見直すとは限りません。なお、業績など実際の結果に影響を与えうるリスク、不確実性及びその他の要因としては、以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- (1) シャープの事業領域を取り巻く経済情勢
- (2) シャープの製品やサービスの需要動向の変化や価格競争の激化
- (3) 為替相場の変動(特に、米ドル、ユーロ、その他の通貨と円との為替相場)
- (4) 諸外国における貿易規制等の各種規制
- (5) 他社との提携、アライアンスの推進状況
- (6) シャープに対する訴訟その他法的手続き
- (7) 製品やサービスについての急速な技術革新 など

※本資料の記載金額は、億円未満切り捨て表示としています。

※前年増減額等は、表示された億円単位の金額を元に算出しております。

※最終利益(損失)・・・

親会社株主に帰属する当期純利益(損失)など

※開示セグメント及び略号

スマートライフ&エナジー(SL)、スマートオフィス(SO)、ユニバーサルネットワーク(UN)、
ディスプレイデバイス(DD)、エレクトロニックデバイス(ED)

SHARP

SHARP

Be Original.

